

『緑の経済と社会の変革』(日本版グリーンニューディール)とりまとめに当たって

2009.2.26

経済同友会

代表幹事 桜井正光

1. 景気対策における政府の役割

・景気対策と成長戦略の同時進行

セーフティーネットの充実と中長期成長戦略の展開

・新成長戦略強力推進(法制化、予算化など)

「低炭素」「健康長寿」「底力」 一次産業、人づくり

2. 低炭素社会作りは全人類的課題として重要

・地球環境保全は待ったなし(遅れるほどに経済や社会へのダメージ増大)

・低炭素社会づくりは経済危機脱出および日本の成長におけるエンジンとなりうる

(これほど明確な国際社会的な中長期ニーズは他に見当たらない)

3. 温暖化対策(環境対策)は経済成長の足を引っ張るか？

・温暖化防止は経済成長にとっての条件

・温暖化防止は価値観が変われば経済成長のエンジン

4. 米国発ニューディール政策の追随は残念。

日本は成長戦略としての「目標達成型低炭素社会づくり」を目指せ

5. 『日本版グリーンニューディール』取りまとめに当たって

1) 緑またはグリーンとは何か

- ・トータルの地球環境負荷低減？ 温暖化防止？ 資源・エネルギー安全保障？

温暖化防止に焦点を当てれば

2) 新たな構造改革の推進

- ・価値観の変革、社会資本の変革、産業構造の変革、ライフスタイルの変革、行政システムの変革など

3) 中期(長期)削減目標達成のための変革

- ・日本の中期目標の明示
- ・可能な限り削減目標の明確化

4) 施策の重点化

- ・エネルギー供給サイド、エネルギー需要サイド
- ・国と地方の役割分担
- ・中/長期施策の層別(短期施策なし)
- ・費用対効果の最大化
- ・産業の国際競争力強化

5) インセンティブ制度・投融資制度の導入

- ・排出権制度、グリーン税制、カーボンオフセット・・・
- ・長期思考に立った投融資制度

6) 経済効果の明確化

- ・新規需要の創造、新規商品・産業の創造、
- ・新規雇用の創造
- ・(既存産業への影響)